

オンラインセミナー好評開催中

コロナ禍での感染症拡大防止の観点から提供を開始しましたオンラインセミナーは、従来の対面での集合セミナーを再開した現在も、引き続き継続し、内部監査員養成一日コース(ISO 9001、ISO 14001、ISO 45001、ISO 27001)をはじめ、規格解釈一日コースや昨年改訂されたISO 27001改訂セミナーの他、コミュニケーション基礎研修などISO以外の内容も開催しています。定番の内部監査員養成コースでは、対面式と同様、ケーススタディー演習も取り入れた実践的な内容となっており、また、チャットなどオンラインならではの機能も好評で、開催場所の制約もないことから全国から広くご参加いただいております。

対面・オンライン、それぞれの特長に合わせて、使い分けられるお客様もいらっしゃいます。用途やご都合に合わせて、ご活用いただけましたら幸いです。また、オンサイト(講師派遣型)研修は、出張・オンラインのいずれも対応可能です。ご興味がございましたら、弊社ホームページ、もしくはインターテックアカデミー&トレーニング(TEL:03-4510-2767)までお気軽にお問い合わせください。

サステナビリティページのご案内

サステナビリティへの関心が高まるにつれ、持続可能な社会への取り組みはますます重要になってきています。サステナビリティに対する取り組みには様々なアプローチがあり、インターテックでは、製品やサービス、サプライチェーンの社会的、倫理的、環境的影響の改善を実現するため、お客様の持続可能な発展に向けた取り組みをサポートする様々な認証サービスを展開しております。

この度、インターテックグループのホームページに、サステナビリティサービスのページを新設いたしました。サステナビリティ関連の国際認証や各種プライベートサービスなどをご紹介しますので、ぜひご覧ください。

(<https://intertekjp.com/about/total-sustainability/>)

インターテックでは、グループが掲げる総合品質保証(Total Quality Assured)の体制の下、あらゆる産業に対応するサステナビリティソリューションを提供しております。弊社でお役に立てることがございましたら、サステナビリティ アシユアランスチームまで、お気軽にお問い合わせください。

審査員会議



弊社では、「有益な審査の実現に向けた協議、技術力向上、感度調整」の目的で、定期的に審査員会議を行っております。

今年7月の品質・環境・労働安全衛生合同会議では、審査方針や心得などの感度調整や技術面向上のためのグループワークの他、審査員の専門性拡大教育についての説明もありました。審査員は自身の専門性をインターテックに申請し、認められた業種に関連する組織の審査を行います。様々な業種、組織の審査希望時期に対応するため、審査員は複数の専門性を持つことが理想ですが、従来の専門性認定は、主に審査員の業務経験に基づいていました。今回の拡張方針により、例えば化学・医薬・介護などの資格保有者には、インターテックのウェブ講座を受講、力量評価記録を提出、合格することで、専門性を拡大させることが可能となり、今後の展開が期待されます。

こういった対応や審査員会議などを通して、お客様に付加価値を感じていただける審査ができるよう、日々取り組んでおります。

INFORMATION

～規格改訂情報～

FSSC 22000 Version 5.1 (V5.1) からVersion 6 (V6) への移行について

2023年4月に発行されたFSSC 22000 V6の主な変更点や移行審査に関して、以下ご参照ください。

■ 主な変更点: お客様に直接係るのは次の2つです。

- ①「FSSC 22000 Part 2 審査対象組織に対する要求事項」の変更(表参照)
- ②「ISO 22003-1:2022」(審査機関に対する要求事項)の改訂に伴うフードチェーンカテゴリーの分類、審査時間の変更

■ 移行審査: 審査は2024年3月31日まではV5.1で、4月1日以降はV6で実施いたします。2024年の審査を4月より前にV5.1で実施した場合、2025年3月31日までにV6移行審査を実施する必要があります。

■ 非通知審査: 第1回維持審査を通知で実施したお客様の第2回維持審査は、移行審査であっても非通知で実施いたします。

V6の日本語版は、予定より遅れて10月には公開される見込みと聞いております(9月初時点)。各自でFSSC財団ホームページよりダウンロードいただき、ご準備ください。

<https://www.fssc.com/schemes/fssc-22000/documents/fssc-22000-version-6/>

ご不明な点がございましたら、食品認証部(03-3669-7420)までお問い合わせください。

項番(赤字の変更箇所は参考和訳)	内容の変更の有無
2.2 スキームの変更と解釈	新規
2.5.1 サービスの管理と購買資材	○(変更有り)
2.5.2 製品のラベリングと印刷方法	○
2.5.3 食品防御	○
2.5.4 食品偽装の軽減	○
2.5.5 ロゴの使用	○
2.5.6 アレルゲンの管理	○
2.5.7 環境モニタリング	○
2.5.8 食品安全文化	新規
2.5.9 品質管理	新規
2.5.10 輸送、保存及び倉庫	○
2.5.11 交差汚染のためのハザード管理と対策	○
2.5.12 PRP 検証	変更無し
2.5.13 製品の設計と開発	○
2.5.14 健康状態	変更無し
2.5.15 機器管理	新規
2.5.16 食品のロスと廃棄	新規
2.5.17 コミュニケーション要件	新規
2.5.18 マルチサイト認証	○